

▲小名濱漁獲高

石城郡小名濱港の昭和五年度に於ける漁獲金高は七十五萬五千二百七十四圓三十一錢で前年度の百七十四萬四千九百二十七圓五十四錢に比し四萬三千三百五十三圓二十三錢の増額振りを見せてゐるがこれは不景氣の祟りで漁獲高は前年度よりは遙に多く悲觀すべきではない。

狩獵部禁止

好獵家のうちでも殊に銃器による乙種狩獵家連にとつては一大飛躍時期であつた雉、山鳥及び獸類で熊を除く外の狩獵はいよいよ今日より禁止されることになつた。

残る四月十五日迄の期間中狩獵を許されてゐるものは前記の如く雉、山鳥を除いた外の鳥類及び獸類では熊だけである。従つてこの期は主として甲種(捕獲器網等によるもの)狩獵家の活動時期である。

然しながら平署では毎年の統計によつて本日よりの禁止期以後にいたつて非常に密獵が流行し、しかも毎年の如くその数を増加して行く傾向にあるので今期は之等の違反者に対しては嚴重なる取締りを行ふことになり二十八日付を以てこれが取締方について各駐在所に對し嚴重通告した。

▲老爺搜索願

安達郡 嶽下村原瀬渡邊辰之助(六七)は去る一月末平町胡澤澤渡邊未藏方から歸宅したまゝ行方不明となつたので未藏は二十七日平署に搜索方願出た。

▲記者横領

石城郡磐 崎村自稱町村新報記者鈴木一(二七)假名は湯本町及數ヶ所での百圓の廣告を募集し遊興費消したため横領で告訴され目下平署で取調べを受けてゐる。

貸家

平町字新川町三十一番地 勤人向き(家賃六圓)

同 三十三番地 商店向き(家賃八圓五十錢)

同 十七番地 商店向き(家賃十四圓半)

平町新川町 中野勇吉 電話一三三番

佛國マルソー會社元話

生葡萄酒

マルソー・アランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤

良品にして安價實行飛ぶが如し

西村屋藥局

平新川町十九

木村病院

電話一六四

院長 木村寅次郎
女醫 木村コウ

産科 婦人科
内臓外科 整形外科

醫學士 松永憲一
藥局 東京藥學士 萩原駿二

りよ連一タス田蒲の演出に「かく泣げなよ者若」
……たしまき届が品贈寄な敵素へ様皆
差を券籤抽くなれ洩へ方たつ成に覽御「よ者若」
……いさ下で出たく早御非是……すまげ上

提供籤抽品贈寄優俳田蒲

の優名竹松なき好たの様皆
いさ下け受御非是物贈

伊達	田宗	山内	鈴木	河内	小島	吉村	林十	尾谷	井邊	新田	渡辺	飯沼	筑川	田中	藤野	岡田	鈴木	
其	他	達	宗	田	内	木	崎	村	十	尾	谷	井	邊	新	田	渡	邊	飯
十	里	太	春	歌	龍	黎	九	海	蝶	滿	雪	弘	綱	秀	時	明	傳	
十	点	子	郎	光	子	子	吉	二	男	男	淳	篤	子	子	子	代	夫	
十	点	子	郎	光	子	子	吉	二	男	男	淳	篤	子	子	子	代	夫	
十	点	子	郎	光	子	子	吉	二	男	男	淳	篤	子	子	子	代	夫	
十	点	子	郎	光	子	子	吉	二	男	男	淳	篤	子	子	子	代	夫	

間日六りよ日三月三
開公夜晝日毎
迄日廿りよ日五十舊

王叉夜盜怪の清田澤
ベツ太彌の關の郎二長林

若者よなせ泣が

蒲田創立十週年記念超弩級大帝王篇
雜誌(富士)連載……巨匠 牛原虚彦渡歐最後の作品
鈴木傳明、岡田時彦、田中絹代、藤野秀夫、主演
原作……佐藤紅緑先生。

度量衡計量器

吸入酸素器

關内藥局

電話四〇番

高級社員招聘

縣下樞要地の監督所長に任用す

◎外務社員數名募集

成績に依り最初より俸給手當並に交際費を支給し
無經驗者は見習員として便宜採用す
入社希望の方は履歷書持参の上、面談詳細を決定す
平町字白銀町十番地

國光生命保險會社 出張所

電話 六百五十番

外科専門 X光線科

病室完備 平町南町

上田外科醫院

電話 一二九番

宣傳中半額割引

明日とのわずな今すぐ電六八〇番へ

新案特許權 二二五二一五
二二五二一六
二二五二一七
二二五二一八

パーレット安全剃刀 定價 金一圓八十錢
自動研皮砥付 半額割引 金 九 十 錢
一枚の刃で永久に使用出来る

バリカン、剃刀は……土橋へ
詰かえボマード、クリーム、フケ取り香水は……芳香園
白衣と鏡……大小取揃へ有る理髮器具店へ

